

# 作品集

Collection

新型コロナウイルス感染症の影響により、ご利用者が制作した作品を展示する『作品展』もこの3年間中止になっています。その中でも出来る物を作って来ました。いつか作品展でご家族や地域の皆さんに見て頂ききたいと思ひます。ほんの一部ですが、ご紹介しします。



つくりだす

## 「フレッシュな風が吹く」鈴木洋一（施設長）

目黒恵風寮では引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じつつも制限の緩和を進めています。具体的には外出、外食、公共交通機関での移動の制限を緩和しました。まだ外泊や帰省の制限は緩和できませんが、ご家族との久しぶりの外出はご利用者にとって待ち望んだ時間です。ご利用者とご家族が当たり前に顔を合わせ、外出や帰省などを楽しんでいた3年前に少しずつ戻れるように話し合いを重ねています。

新しいご利用者、新しい職員を迎えて施設内にもフレッシュな風が吹き込んでいるような気持ちになります。明るく元気なご利用者のSさんは、いつも持ち歩いている絵本を指さして自分の好きな飲み物などを教えてくれます。「〇〇さんコンニチワー！」と大きな声で丁寧な挨拶をしてくれるご利用者のMさんは、お友達と一緒に構内を散歩するのが日課です。音楽好きなご利用者のKさんは、ロックが何たるかを若い職員に教えてくれます。

そんな楽しい日々をいつまでも続けていけるように「日々を満たす」ための働きを職員全員で模索していきます。皆様にはいつもお世話になってばかりですが、今後ともご協力をお願いいたします。

風のたより 2023.9月号

2023年9月発行

発行 社会福祉法人 愛隣会

制作 広報委員会

 目黒恵風寮

〒153-0044

東京都目黒区大橋2-19-1

電話 03-3466-0268（代表）

メール megurokeifuyou@orion.ocn.ne.jp

ウェブ <https://m-keifu.jp/>

こっちもみてね



風のたより  
Wind's Letter Vol.5



社会福祉法人 愛隣会  
目黒恵風寮

# 季刊 風のたより

Wind's Letter Vol.5



# みんなの ぶらち時間

ご利用者の日々の暮らしのようすや出来事を紹介します。

## Floor 01

### 生活棟1階



#### 「ある日の突然の決心」 鈴木 洋一（施設長）

病気のために手術が必要なAさんは1か月に1度の通院を続けながら、外科の先生からの説明を受けていましたが、やはり手術は怖いのでしょうか、手術を受ける決心がなかなか出来ませんでした。先生も無理にすすめることはなく、Aさんの気持ちが手術に向かうまで何度も説明してくださいました。

ある日の通院時、生活支援員と私（施設長）、後見人が付き添って診察室に入り、いつものように先生が説明をすると、いままで「嫌だ」と拒否的であったAさんが「受けてもいいよ、手術」と応えました。一瞬呆気にとられた私たちですが、そのあとはすぐに入院準備で忙しくなり、全ての手続きが終わってから私は後見人と今日の出来事を振り返りました。

突然の決心に見えた「受けてもいいよ」の言葉は、これまでの先生や生活支援員などの関わり、当日後見人が一緒にいる安心感、その他多くの大切な関わりによってAさんには自分の中にある不安を乗り越えたのだと思います。

Aさんの手術は無事成功し、退院して恵風寮に戻ってきました。先生が診察の時にいつも塗ってくれるロールオンフレグランスは緊張を和らげる効果があるのだと聞きました。私も同じものを購入してAさんとお話する時は手の甲に塗ってあげるようにしています。

## Floor 03

### 生活棟3階

#### 「～お散歩・中食～」 佐藤玲奈（3階支援員）

3階のご利用者は皆様お散歩が大好きです。3月、4月は愛隣会内のたくさんの桜の下を気持ちよくお散歩しておりました。風が強いときには舞い落ちる桜をキャッチし笑顔に。最近太陽のもと談笑しながら元気にお散歩しております。

恵風寮前、風のガーデンには色々な施設・園の皆様がいらっしゃり、たまに交流しております。そしてコロナ禍になり外出ができなくなった中、ご利用者の楽しみが中食です。職員がご利用者に食べたい物を聞きデリバリー注文します。自分の中食の番が来るのをとても楽しみにされていて、召し上がる時にはとってもニコニコしながら「美味しい～」とおっしゃってくださいます。面会など徐々に緩和され、また旅行に行ける日が来ますように。



## Floor 02

### 生活棟2階



#### 「ちょっと、ブームがきてます（笑）」 佐々木知紀（2階支援員）

コロナ禍も少しずつ落ち着き、ご利用者の生活も安定はしつつありますが、コロナ前の様な生活に戻るのには、もう少し先になりそうです。

そんな寮での生活ですが、2Fフロアのご利用者皆さんの楽しみは、作業棟での日中活動と入浴（お風呂）であります。特に、お風呂は、ちょっとしたブーム（？）が起きており、そのブームは「入浴剤」です。まだまだ旅行が難しい為、せめて「気分だけでも」ということで、利用が始まりました。

只今 2F浴室はブルーベリーの香りに包まれております。皆さんからも好評で「いい匂い」「あったまるー！」など、入浴剤が入ると表情も穏やかになり、のんびり気分にもなっており、皆さん、なかなか湯船から上がりたがりません。湯あたり注意です（汗）「また、温泉に行きたいね」と介助中に談笑しながら、一日でも早くコロナ前の動きに戻るよう期待しつつ、今日も入浴を楽しんでおられます。さて、次回は、何風呂でしょうか？

## Floor Act

### 作業棟

#### 「作業場の様子」 平井美香（作業棟支援員）

4月から作業棟に2名の職員が加わり、体制も整い以前よりも活気が出てきました。車椅子のご利用者も増え、限られたスペースでの活動になりますが、ご利用者ができることを見つけ楽しんで戴ければと考えます。今回は2階のご利用者の様子を写真に撮りました。

花畑班では以前から木工作業ができるTさんが、ヤスリをかけ作品づくりに励んでいます。また、塗り絵が大好きなTさんは、毎回何枚も塗り絵を仕上げます。製菓班のSさんはビーズの作品づくりが得意です。

